

Course number		U-LAS62 10005 PJ17					
Course title (and course title in English)	森里海連環学実習Ⅲ：暖地性積雪地域における冬の自然環境				Instructor's name, job title, and department of affiliation	Field Science Education and Research Center Senior Lecturer, NAKASHIMA TADASHI	
	Field Study on Connectivity of Hills, Humans and Oceans III :Natural Environment in Winter Season of Warmtemperate Snowfall Region						
Group	Interdisciplinary Sciences			Field(Classification)		Studies on Connectivity of Hills, Humans and Oceans	
Language of instruction	Japanese			Old group	Group B	Number of credits	1
Hours	30	Class style	Practical training (Face-to-face course)		Year/semesters	2024・Intensive, Second semester	
Days and periods	Intensive 4 days in early February		Target year	All students	Eligible students	For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
<p>芦生研究林の位置する京都府北東部は暖地性の積雪地域である。この地域の冬の自然環境を体感する。雪氷調査法の基礎を習得することによって、雪や氷を定性・定量的に評価する方法を学ぶ。同時に冬のフィールドにおいて生物(人間も含む)の活動がどのように制限されるか、またその制限に対する生物の対応について理解を深め、フィールド調査の基礎となる安全で有効な活動方法を習得する。</p>							
[Course objectives]							
<p>雪氷調査法の基礎を習得する。 雪や氷を定性・定量的に評価する方法を学ぶ。 冬のフィールドにおいて生物(人間も含む)の活動がどのように制限されるか、またその制限に対する生物の対応について理解を深める。 冬のフィールド調査の基礎となる安全で有効な活動方法を習得する。</p>							
[Course schedule and contents]							
<p>2月前半に、芦生研究林において合宿方式で行う。</p> <p>予定(天候・雪の状況等によって変更の可能性あり) 第1日：芦生研究林への移動とオリエンテーション 芦生研究林に集合。14:00：オリエンテーション。カンジキを装着して足慣らし。宿舎周辺の雪観察。夜、発表会。 第2日：芦生研究林における冬の自然環境 終日：内杉谷又は由良川本流においてフィールドでの自然観察。 第3日：雪と氷の調査法入門 終日：積雪調査法(講義)・積雪調査実習 第4日：調査データの解析・レポート作成・発表会・解散 午前：レポート作成・発表会・後片付け・掃除。午後：解散。</p>							
[Course requirements]							
<p>募集定員は15名。詳細は12月初旬に発表の募集要項を参照。1月下旬に説明会を開催するので、必ず参加すること。4回生の履修については、卒業に必要な単位としては成績判定が各学部の締め</p>							
<div style="text-align: right;">Continue to 森里海連環学実習Ⅲ：暖地性積雪地域における冬の自然環境(2)</div>							

切りに間に合わない可能性があるので要注意。高校での生物履修の有無は問わないが、授業中必要になる知識については、自学自習を求める。

[Evaluation methods and policy]

- 1．討議への参加状況 40点
- 2．調査方法の習得状況 30点
- 3．レポート及び感想文 30点

[Textbooks]

教科書は使用しないが、芦生研究林や積雪調査法に関連する資料を配付する。

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

(Related URL)

<http://www.fserc.kais.kyoto-u.ac.jp/>

[Study outside of class (preparation and review)]

事前にメールで課題を提示し、初回のオリエンテーションで意見を交換する。次の時間までに、集中講義に向けて各自の計画、或いは友達との共同生活の準備を行うための話し合いを行う。集中講義の最後に全体を通してのレポートを課す。

[Other information (office hours, etc.)]

日程調整等の連絡は基本的にメールで行います。メールチェックを常に行うメールアドレスを登録すること。特別な予備知識は必要としないが、冬期の積雪地域での実習になるので防寒具の準備は必須である(詳細は説明会にて)。また、野外での講義・実習がメインになるので各自学生教育研究災害傷害保険等の傷害保険に必ず加入のこと。食費(実費(自炊))・宿泊費(¥500)・交通費(バス代 ¥2,500、電車代 ¥570)は各自負担(2016年度実績)。

関連する科目：森林学